

# 授業科目 身体障害作業療法学演習

【担当教員名】 岩崎テル子、大山峰生、能登 真一	対象学年	2	対象学科	作業
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	30

【一般目標：G10】  
 作業療法の対象となる身体障害者の身心機能・身体構造・活動制限・参加制約を理解し、その治療理論及び治療・指導・援助の方法・技術を身につける。

【行動目標：SBO】

1. 身体障害作業療法の守備範囲について具体例をもって説明できる。
2. 心身機能および身体構造に関する基本的障害の治療原理について説明できる。
3. 身体障害の具体的ケースで国際障害分類（ICF）を試用する。
4. 中枢神経疾患と末梢神経疾患の障害像の違いを具体的に例示できる。
5. 代表的疾患に関する作業療法の内容を列挙できる。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	身体障害作業療法の守備範囲（対象疾患と障害の種類及び治療対象となる障害）	1	教科書、配布資料からまとめる
2	心身機能および身体構造に関する基本的障害の治療原理	2	配布資料に基づき演習
3	身体障害に関して国際障害分類（ICF）を適用してみる。	3	グループ演習と発表
4	中枢神経麻痺と末梢神経麻痺の障害像の違い。	4	VTRを見ながら話し合い
5	脳血管障害：陽性徴候（共同運動、連合反応、姿勢反応、異常筋緊張）、陰性徴候（平衡反応）	5	実技で覚える
6	脳血管障害：回復過程（問題別対応）	5	教科書でまとめる
7	脳血管障害：回復過程に応じた治療	5	教科書でまとめる
8	脳血管障害：回復過程に応じた治療、ADL制限、家庭生活・社会生活上の制約	5	教科書、資料からまとめる
9	脊髄損傷の作業療法：臨床像、予後、評価法職業復帰	5	教科書、資料からまとめる
10	脊髄損傷：損傷レベルに応じた治療・指導	5	実習に役立つ一覧表作り
11	脊髄損傷：社会参加の促進（家庭生活、職業復帰、社会活動参加上の問題解決）	5	同上
12	末梢神経損傷：臨床像、評価法、治療・指導・援助	5	教科書、資料からまとめる
13	末梢神経損傷：臨床像、評価法、治療・指導・援助	5	同上
14	慢性関節リウマチ：臨床像、評価法、治療指導援助の概要	5	講義、手足変形の原因の図示

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書	作業治療学1 身体障害	日本作業療法士協会	協同医書出版社	1999、3500円
参考書	①作業—その治療的応用、日本作業療法士協会、協同医書出版社、1985、8500円		②エガース・片麻痺の作業療法、Eggers, o 柴田澄江他訳、協同医書出版社、1986、3800円	
その他の資料				

【評価方法】	【履修上の留意点】
出席点：5% Quiz：10% 期末試験：85%	医学的基礎知識、特に神経解剖学の知識を再学習し、しっかり身につけること。